

配薬時間短縮化に有効であった  
配薬ファイル導入による  
インシデント件数減少への  
効果検証とその要因

## I .はじめに

一般的に病棟看護師は複数の患者を受け持っている

病棟看護師の多種多様な業務と時間的切迫感のために一つの業務に集中できないことが多い



注意不足や作業中断により  
**誤薬投与発生率が上昇**している



急性期病院で治療を受けている入院患者の多くは、  
内服薬の種類や数の多さに加えて随時処方薬の  
変更が生じる



看護師による  
内服薬の管理業務が複雑化



川口工業総合病院  
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

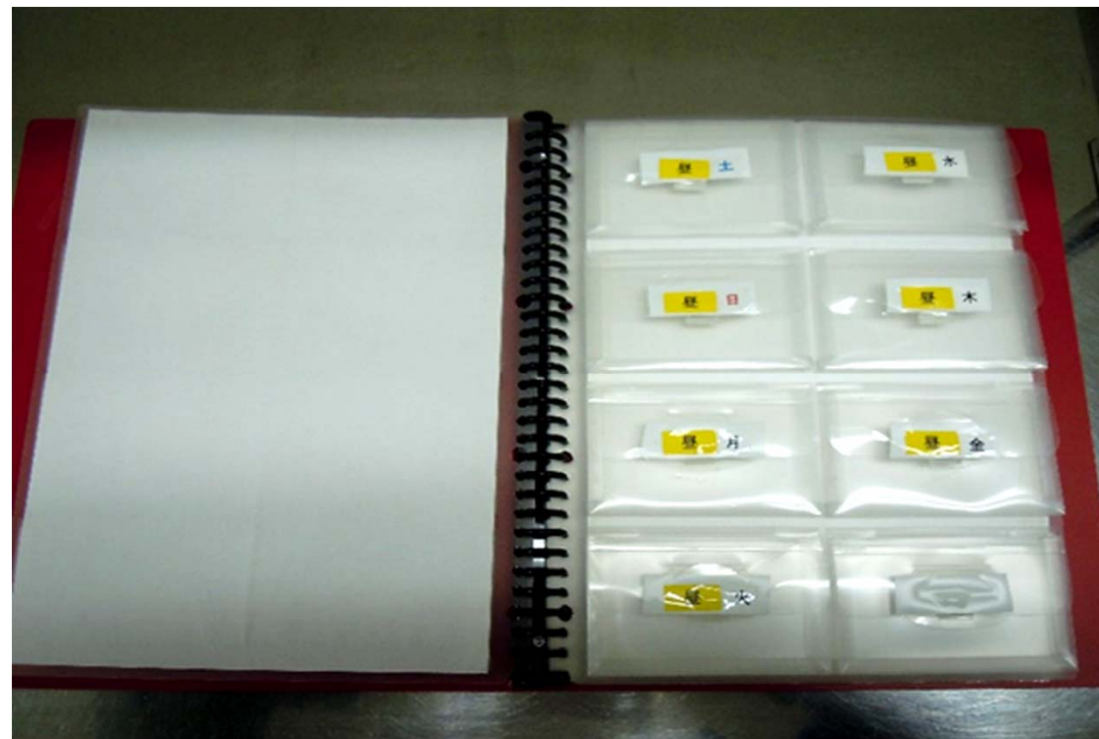
## Ⅱ.研究目的

配薬時間の短縮化に効果があった配薬ファイル導入によるインシデント件数減少への効果とそれぞれの結果をもたらした要因を明らかにし効果的かつ一般化可能な配薬方法提示への示唆を得ることを目的とする



# 配薬ファイルとは・・・

1ページあたり8個のポケットを備えた、曜日毎と時間毎（朝・昼・夕・眠前別）にセットできる1患者毎のA4ファイル



川口工業総合病院  
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

### Ⅲ.研究手法 【インシデント件数比較】

1.研究デザイン:後ろ向き調査

2.研究対象:A病院内科病棟

病棟の電子カルテ上のインシデントについて記録したデータから内服に関するインシデントデータを下記期間より抜粋(計11件)

配薬ファイル導入前:平成25年12月1日から平成26年3月31日

配薬ファイル導入後:平成26年9月1日から平成26年12月31日



### 3. 調査項目

インシデント発生日

内服に関するインシデント件数

入院患者数

### 4. データ収集・分析方法

配薬ファイル導入前(121日間)と導入後(122日間)

のデータで比較した

分析はSPSSソフトにてMann-Whitney検定を行った



## Ⅲ.研究方法【インシデント件数減少に関する質的調査】

1.研究デザイン:質的記述的調査

2.研究対象:首都圏にあるA病院内科病棟において配薬ファイル導入前から在職しており、配薬ファイル使用経験のある看護師10名

3.調査期間:平成27年8月13日から同年8月17日





## 4.データ収集・分析方法

インタビュー形式にて質問し、回答した文章の前後の文脈から意味を損なわないようコード化した

抽出したコードの類似性・相違性を検討しながら、サブカテゴリー及びカテゴリーへ分類を行った



## IV.倫理的配慮

研究の主旨・内容、個人情報保護・研究結果の倫理的配慮について説明書・同意書を作成した。口頭・紙面で内容を説明し同意書にサインを得た。尚、本研究は所属施設倫理審査委員会にて承認を得た。



## V.結果

### 【インシデント件数比較】

表1 結果

	平均値(±SD)		p値
	導入前	導入後	
平均1患者あたりのインシデント件数(件)	0.0043(0.0137)	0.0003(0.0038)	p<0.01



## 【インシデント件数減少に関する質的調査】

139個のコード及びサブカテゴリーが生成



21個のカテゴリーが生成



インシデント減につながった要因のカテゴリー 8個

時間短縮につながった要因のカテゴリー 5個

インシデント減・時間短縮に共通するカテゴリー 8個



# インシデント減につながった要因のカテゴリー

配薬ファイルは・・・

- ①導入前は残薬に関するインシデントがあった
- ②ポケットが透明で配薬忘れに気付ける
- ③見開きで薬を確認しやすくインシデント減になった
- ④薬歴と確認しやすくインシデント減になった



- ⑤準備時と配薬時にダブルチェックできインシデント減になった
- ⑥余裕をもって準備ができインシデント減になった
- ⑦サイン欄から配薬忘れの早期発見ができる
- ⑧配薬ファイル作成により意識づけが出来た

計8個のカテゴリー



川口工業総合病院  
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

# 時間短縮につながった要因のカテゴリー

配薬ファイルは…

- ①ポケットはマジックテープ式でマチ付きのため  
使いやすい
- ②ポケットが透明で薬を確認しやすく配薬準備  
時間が短縮された



- ③ 1患者につき2冊あるから薬をセットしやすい
- ④ 1週間分の薬がセットされていて確認がしやすい
- ⑤ 残薬確認が不要なため準備時間が短縮された

計5個のカテゴリー



川口工業総合病院  
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL



# インシデント減・時間短縮に共通するカテゴリー

配薬ファイルは・・・

- ①導入前は配薬BOXに複数の患者の薬袋が入っていて確認しにくかった
- ②導入前は準備に時間がかかり精神的余裕がなかった
- ③個人・時間・曜日別で薬を確認しやすく時間短縮とインシデント減になった



- ④ポケットに必要な薬があり確認しやすく準備時間短縮とインシデント減になった
- ⑤ポケットは一包化のようで確認しやすい
- ⑥患者の元へ持ち運びしやすい
- ⑦サイン欄が一カ所で分かりやすくサインしやすい
- ⑧複数のスタッフで作業を分担でき負担が少ない

計8個のカテゴリー



川口工業総合病院  
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

## VI. 考察

配薬ファイル導入前は「残薬に関するインシデントがあった」

導入後は・・・

見開き

[氏名]					様				
月					月				
	朝	昼	夕	ねる前		朝	昼	夕	ねる前
1					1				
2					2				
3					3				
4					4				
5					5				
6					6				
7					7				
8					8				

サイン欄  
1カ所





透明

一包化



配薬忘れの  
早期発見



川口工業総合病院  
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

配薬ファイル導入前は

「配薬BOXに複数の患者の薬袋が入っていて確認しにくかった」

導入後は…

- ① 個人・時間・曜日別
- ② ポケットに必要な薬がある
- ③ 一包化のようなポケット

確認作業の容易化  
必要な薬がわかりやすい



川口工業総合病院  
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

配薬ファイル導入前は

「準備に時間がかかり精神的余裕がなかった」

- 導入後は・・・
- ①薬歴と確認しやすくインシデント減になった
  - ②複数のスタッフで作業を分担でき負担が少ない
  - ③余裕をもって準備ができインシデント減になった
  - ④配薬ファイル作成により意識づけが出来た

薬歴と確認しやすい  
焦らず余裕を持てた



- ①ポケットはマジックテープ式でマチ付きのため  
使いやすい
- ②患者の元へ持ち運びやすい
- ③サイン欄が一カ所で分かりやすくサインしやすい
- ④1患者につき2冊あるから薬をセットしやすい
- ⑤1週間分の薬がセットされていて確認がしやすい



⑥複数のスタッフで作業を分担でき負担が  
少ない

⑦ポケットが透明で薬を確認しやすく配薬準備  
時間が短縮された

⑧残薬確認が不要なため準備時間が短縮  
された

作業効率上昇





## VII.本研究の限界と今後の課題

今回の研究結果はA病院内科病棟のみの調査に基づく結果であるため、一般化するには限界がある

今後は今回の研究結果をもとに他病院や施設、家庭においても活用可能であるか検討していく必要がある



## VIII. 結論

1. 配薬ファイル導入により有意にインシデント件数が減少した
2. 配薬ファイルは利便性且つ安全面で優れておりインシデント件数減少につながったことが分かった
3. 配薬ファイルの透明で中身が見やすく出し入れしやすい構造が配薬時間短縮につながったことが分かった

